

台徳院殿霊廟模型

宝物展示室の目玉は、江戸幕府二代目将軍徳川秀忠（1579–1632、法名 台徳院）の元の墓所である台徳院殿霊廟の 10 分の 1 スケール模型です。この霊廟は 1632 年に息子の家光（1604–1651）によって建てられ、その精巧な建築と華麗な装飾は、後に家光が徳川幕府の初代将軍家康を祀るために同じ職人に建てさせた日光東照宮の前身とされています。残念なことに、台徳院殿霊廟は、増上寺の大部分とともに、1945 年の空襲で焼失しました。

この精緻な模型は、1910 年にロンドンのホワイトシティで開催された日英博覧会で日本の文化と技術を披露するため、東京市の依頼で総勢 150 人の大工と職人によって制作されました。日英博覧会は大盛況で、5 ヶ月の開催期間中に 800 万人以上が来場しました。展示終了後、この模型は国王ジョージ 5 世に献上され、王立植物園キューガーデンで展示された後、解体されて英国王室のコレクションの一部として収蔵されました。

ずっと保管されていた模型は、ウィリアム・コールドレイク教授の助けにより再発見され、一般に公開されるために増上寺に貸し出されて戻ってきました。大殿の地下に展示スペースが設けられ、何ヶ月にもおよぶ慎重な復元作業を経て、台徳院殿霊廟模型は 2015 年に展示されました。

幅約 4 メートル、奥行約 6 メートルのこの模型は、本殿と拝殿が相の間で接続されており、その周りの中門のついた堀が囲んでいます。本殿の屋根は別のケースで展示されており模型の内部の装飾や設計の細部を隅々まで見ることができます。当時、コールドレイク教授は「（台徳院殿霊廟模型は）単にかつて存在した偉大な建物の模型というだけでなく、この模型自体も日本の伝統的な職人芸の技術的・美学的な最高水準を体現する一つの卓越した芸術作品である」と述べました。

増上寺宝物展示室

場所：増上寺大殿本堂地下 1 階

開場時間：10:00～16:00

祝日を除いて火曜日は閉館

入場料：大人 700 円(税込)

徳川将軍家墓所拝観とのセット券 1,000 円